



夏期開園は2020年11月3日(火・祝)まで。開園時間は午前9:30~午後5:15(入園は午後4:00まで)。
 10月16日(金)からは午前9:30~午後4:30(入園は午後4:00まで)。
 体調が悪い方、発熱がある方は入園をご遠慮ください。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
 動物図書館
 ☎0166-36-1104

単独で行動し、巣を作らない
 エゾキウサギの生活がわかる
 「エゾキウサギ放飼場」。



広い敷地の中で1匹で寂しくないの？ と言う方もいますが、エゾキウサギは単独で行動する動物で行動範囲もとても広いです。巣を作らず、日中は草かげなどで休んでいるエゾキウサギの本来の姿が、ここで観察できます。※「こども牧場」で飼育しているカイウサギ(アナウサギ)は群れで暮らし、土を掘って巣を作ります



2020夏・新施設に注目!

「東門」と「サル舎」をつなぐ階段の横にある坂「ゆっくりロード」に「キタキツネ放飼場」と「エゾキウサギ放飼場」が、また「ちんぱんじー館」のスカイブリッジ手前にはチンパンジーの遊び場「スカイウェイ」が完成しました!



キタキツネは、バランス感覚に優れているのがわかる、自然いっぱいの「キタキツネ放飼場」。

チンパンジーの好奇心旺盛さと運動能力の高さがわかる、スカイブリッジ内に完成した「スカイウェイ」。



イヌの仲間のキタキツネ。嗅覚が優れているのはもちろんですが、バランス感覚も優れています。ちょっとした高さの足場が狭い場所でもどんどん上がっていきけるのです。クマザサや樹木なども多く植えました。自然の中のキタキツネを観察できますよ。

好奇心旺盛なチンパンジーが、私たちの足もとからロープを使って上ってくる空間「スカイウェイ」。チンパンジーの表情や体の使い方を間近に観察することができます。※上ってくるかどうかはチンパンジーの気分次第です

新施設で、その動物の「生き方」を観察してみよう!
 6月1日、旭山動物園の夏期開園がスタートしました。4月に抜け落ちたエゾシカのオスのツノは、今ではだいぶ大きく成長しました。エゾキウサギの白かった冬毛も今では茶色い夏毛。5月の初めにエゾヤマザクラが咲き、今はエゾカンゾウが満開です。カバやアムールトラの仔は元気に成長中です。新しい施設もオープンしました。人間は注意しなければいけないことがまだ多いですが、気を付けながら動物園のいろんな変化を見つけてください!

今年生まれの仔たちは元気いっぱい!



アムールトラ

1月に生まれたカバの仔、2月にはアムールトラの仔が3頭生まれました。3月にはワオキツネザルの双子、閉園中の5月にはアビシニアコロブスの仔が誕生。みんな放飼場で元気に成長していますよ。



ワオキツネザル

3/5に生まれたのは2頭。ピョンピョン跳ねていて写真を撮るのも大変です(6/9)



アビシニアコロブス

5/1に生まれた仔は1頭。成長するにつれ白い手がなくなっています(6/9)



カバ

1/16に生まれた仔はメス。お母さんの旭子から離れて遊ぶことも増えてきました(5/22)

6/15現在、屋内外での「もぐもぐタイム」、「こども牧場ふれあい時間」、「なるほどガイド」、「ワンポイントガイド」、動物図書館で行っている「絵本の読み聞かせ」といった各種イベントはしばらくのあいだ中止しています。イベントの実施については、ホームページやSNSでお知らせいたします。